



福居



なんでもおみこしコンクール

を終えて



供たちが楽しみながら作っていったと思われるものなどさまざま。ただ、出場者、観客を含めて退き上げていった表彰会場の道路には、大きなアルミのビールカンがひしやげて点在。あちこちに紙くず、紙コップ……。今夏のコンクール出場は二十一基、参加者千五百人内外と多人数の割りに道路周りの観客数の少ないのには、みこしが立派なだけに残念であり、もったいない。

せつかく、ここまで成長した、なんでもみこしコンクールを市民の祭りだけに終ることなく、県民の大きな関心ある祭、北陸三県の人々が注目する祭にまで育てられないものだろうか。

公安委員会他官公庁の関り、私鉄各線の営業、企業の方針との絡みなど多極面の調整が必要だろうが、一愚者の提案。

★中央公園で行われている『ラジオフエスタ』と合同フェスティバル。野外ステージでの音楽会、タ

供たちが楽しみながら作っていったと思われるものなどさまざま。ただ、出場者、観客を含めて退き上げていった表彰会場の道路には、大きなアルミのビールカンがひしやげて点在。あちこちに紙くず、紙コップ……。今夏のコンクール出場は二十一基、参加者千五百人内外と多人数の割りに道路周りの観客数の少ないのには、みこしが立派なだけに残念であり、もったいない。

レントのステージは本町通グリーンベルト上部移動ステージ。

★屋台の夜店を集結させる。

★おみこしの規模をより大きな寸法に拡大し、コースを変更する。

★賞金金額を高額に引き上げる。

★はつきりとオープンコンクールにし、市外、県外のみこし参加を計る。

★名称を拡大解釈できるような名称変更する。

より楽しく、意義深いコンクールにすべく、各会員の考える時のように思います。



（ 商工の窓 ）

鉦の上で囃されるコンチキチンの祇園囃子は能楽の影響のもとに室町時代末期にでき、江戸時代に今のような優雅な囃子になったと伝えられている。囃子方一八名にて各鉦それぞれ独特の曲が約三〇曲ある。山鉦総数三基と聞いた。その伝統の祇園祭は七月十七日の山鉦巡行を中心に多くの行事が約一ヶ月にわたって行われる。なかでも宵山（十三日～十六日）は各山鉦の駒形提灯がともり、祇園囃子が奏でられ、町会所などに豪華な山鉦装飾品が飾られるなど最も祭りが盛り上がる時である。各山鉦町の家々では各時代の秘蔵の屏風や書画など山鉦参観者を迎えるため飾られる。

さすがに商人街、年に一度のサーピス（？）か。その展示物一つ一つが織と染と京錦の伝統が大衆を魅了する。三日間の観客は一〇万人とか、その割には静かで、観衆の躍動、盛上りはない祭だ。只伝統を守っているのみ。ちまき等大衆に振る舞うべきものが販売中心になったり福井フェニックスまつりの盛り上りには集客だ！！

第五回なんでもおみこしコンクール

大成功裡に閉幕



真夏の宵を彩る第三回ふくいフェニックスまつりは八月一日夕刻から開幕。そのメインイベントとも言える第五回なんでもおみこしコンクール(福井商工会議所青年部主催)が、今夏もアイデアと威勢を競った。おみこしは二一基うち五基は子供みこしで、全体で去年より五基多い参加。千五百人が担ぎ、はやして祭を盛り立てた。フェニックスまつりの開幕式典は午後五時、本町通りに設けた舞台で行われ、仁愛女子高鼓隊のドリル演奏、まつり協会長の大武市長や会議所関係者らがあいさつ。

正治真由美さんら85ミス・フェニックス三人が水着にロングケープ姿で花を添え、二千個の風船が空に舞った。

カーニバルの初日は民謡二〇団体を皮切りに、呉服町通りから進んできた福井地区消防音楽隊を先頭にパレードが行進、このあと二団体のおみこしが続いた。なんでもおみこしコンクールには商工みこし(福井商工会議所)豊稷みこし(西藤島青少年育成会)、ゴジラみこし(若越ひかりの村コロニー)、スペースシャトルみこし(サンロード北の庄商店街)、キリンみこし(福井子供劇場)、燈籠みこし(啓蒙子供連)、西瓜みこし(日新子供連)、しらゆきひめ(小児療育センター)、交通安全帆船(福井市交通指導員会)、飛行船みこし(福井市勤労青少年ホーム)、ファンタジックフラワー(県機械工業協同組合、龍のウインドサーフィン(福井市青年大学)、キン肉マンみこし(福進チェーンやなぎやグループ)、岡本青年団みこし

(今立町青年団)、ザ・越前セピア(平和堂西福井店)、ペリカンみこし(日本通運福井支店)、北電雷神みこし(北陸電力福井営業所)、呉服町みこし(呉服町中央商店街)、じゃじゃ丸みこし(福井郵便局)、呉服町のたけしとたけし軍団(上呉服町・呉服町商店街)、ガメラみこし(だるまや西武)、狸みこし(大和紡績福井)の二基がねり歩いた。

本町通り特設舞台の審査発表表彰式では当青年部会淡島洋会長が大声であいさつ。山本融国鉄福井駅長、今村善孝福井青年会議所理事長はじめ牧田道男当青年部会顧問ら一〇人の審査員が紹介され審査発表に入った。結果は次の通り。

▽大賞 北電福井営業所
▽準大賞 県機械工業協同組合、だるまや西武、平和堂西福井店、上呉服町・呉服町商店街



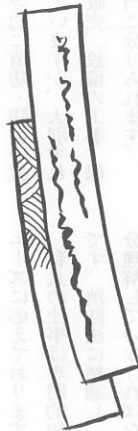
▽子供大賞 若越ひかりの村コロニー
大賞はじめ各賞に賞金と参加全団体に協賛各社からの副賞品が手渡された。その後、石橋正人コンクール委員長が成功裡に祭りが終わったことに謝辞を述べ、「ガンパロー」を三唱して閉幕した。

協賛をいただいた各社(順不同)三和建材、井村屋製菓、北陸銀行福井支店、ニシモト、大丸商店、セイヨーコンピュータ、雪印乳業、おくむら人形、森永乳業、フクド、サンビーム金寿閣、松岡軒、武田食品工業、バンスポーツ、あおい商事、ブラッキィ、ソボク電器、愛好来夢、村中建設、紅久、京福商事、大塚製菓、しみずや、パビヨット、福穀食糧、村井眼鏡工業、総合ギフト、県経済農協組合、福井トヨタ。

七月例会で歌会



七月例会は二十六日サンビームプラザ金寿閣で午後六時から開かれた。定例報告、全国大会経過報告、新入会員紹介があった。その後、雑誌「花鳥」主幹の伊藤柏翠師の指導による歌会。師は三国在住で全国的にご活躍である歌人であり、高浜虚子に師従された。柏翠師は弟子である野上忠氏をともなうて当青年部会では初めて



の歌会指導、季題は夏の「西瓜」。「風鈴」「雲の峰」の三題、部会員はほとんどが初めての歌会とあって、目を遠くに定めつつひねる者、笑いつつ筆を走らせる者とさまざま、短冊を真っ白のまま「風鈴や音がなければ ただの鉄」と、ある会員が叫べは会場は爆笑。

この歌に部会員は和み、隣の会員と談笑しつつ筆をはこんでいた。伊藤柏翠師は全会員の歌を別室で読んで評価。優作の十数の歌を会員の前で紹介した。「かきあげし君のおくれ毛 西瓜……」おくれ毛と、この詠んだ人は、なかなか隅に置けませんぞ。」と、ほほえみつつ師が笑う。

以下は紹介された歌の一部、雲の峰 採りも採つたる 雲丹のから 天野 吉登
すいか喰う 種少なきは 味けなし 古川 伸二

風鈴も風がなければ ただの鉄

かきあげし 君のおくれ毛 西
瓜食へ 赤く染りし よだれ
かけ 永井 弘明
幼子は 西瓜と共に 転がれり
わき水を 飲んであおきし 雲
の峰 松村 顕
風鈴の 音を聞きたくて 耳立
つる 淡島 洋
思い出す 西瓜たべたべ 母の
顔 清水 慶造
幼な子の 口のまわりに 西瓜
つけ 阿部 宏治



10月8日 ブロック運営研究会 有田市で開催

第三回近畿東海ブロック商工会議所青年部運営研究会が十月八日(火)に有田市(和歌山県)で開催されることになりました。主管は紀州有田商工会議所青年部会。当青年部会からも全国大会・福井大会への参加PRを兼ねて、数多くの会員参加が期待されております。日程は次の通り

- ▽登録・受付 11:30~12:30
- ▽①全体会議 13:00~14:00
- ▽②記念講演 14:00~15:00
講師 箕島高校野球部監督 尾藤 公氏
- ▽③分科会 15:30~17:00
以上、会場は有田市民会館、第三分科会のみ紀州有田商工会議所六階大ホール
- ▽④懇親会 17:30~19:30
東亜燃料工業(株)体育館

参加費用 一人 一三、〇〇〇円
(宿泊費用は別途)
参加者は日帰り大阪宿泊(泊)の二コースを計画しております。
参加申込は(申込書別途送付済)八月三十一日(出)までに事務局まで

パーソナル日本語ワードプロセッサ
カシオワード
HW-100
¥59,800

文具と事務機

兼子一誠堂

TEL (0776) 22-4323(代)

こんな場合に **鑑定評価** がお役に立ちます。

- 財産相続・不動産の売買又は交換・不動産担保(提供又は徴求)・共同ビル等の権利調整などで土地、建物の適正な価格を知りたいとき。
- 貸ビルやマンションの家賃決定・地代や家賃の改訂などで適正な地代、家賃を知りたいとき。

不動産鑑定士林逸男事務所
福井市文京2丁目6番25号
TEL 27-2595(代表)

所長 林 逸 男

企業訪問

暁産業株式会社



専務取締役
荒木 伸男

〔会社概要〕

本社 福井市大手三丁目十一―四
☎二二三四〇〇

敦賀営業所

問屋団地に営業サービス部

創業 昭和二十四年六月

会社設立 昭和二十六年五月

資本金 壹千万円

役員 社長 荒木 直栄

業務内容 消防自動車、消防ポン

プ、ホース、消火器、

消防用及海上汚染防止



資機材の販売
消防用設備（自動火災

報知、防排煙、水・泡

ガス系消火、避難誘導

の設付及施工）

同右消火用設備の保守

点検及び整備

沿革 前社長荒木克己が旧三

井物産㈱のGHQの解

体指令により同社を退

職後、資本金五十万円

にて設立、三十年に現

在地に新築、逐年業績

拡大、四十七年 福井

問屋センター内に営業

修理サービス部門を建

設逐次増資し現在資本

金壹千万円、前社長荒

木克己九月十六日死去

に伴ない、荒木直栄社

長に就任す。

社員 二十三名

弊社は総合的に消防・防災の業

務を行なっていますが、大別すれ

ば、機器の販売、設備の工事、保

守点検の部門に分けられます。

機器の販売の中には小は消火器

から大は消防梯子車まであり、消

防車、ホース、ポンプ、消防機材

の納入を通じ各市町村、自治体の

消防署とは長期に巨り密接な関係

にあります。

工事部門には自動火災報知・ガ

ス洩れ等の警報設備、屋内消火栓

ハロンガス等の水素・ガス系・泡

系の消火設備、救助袋・避難梯子

等の避難設備があります。

保守点検部門は例の大洋デパー

ト、千日前ビルの大惨事の教訓を

生かし立法化されてきたものです。

建設当初にどれだけ立派に消防設

備が完備されていたも、その後の

維持管理が不十分であってはお方

一の場合何の役にも立ちません。

客先と保守点検契約を結び、定期

的に点検を行なうと共に異常が発

見されればいつでも係員が出向い

て客先の安心を頂いております。

又消防計画書作成、訓練の実施等、

一般には馴染みの薄い事務を防火

担当者に協力、援助、代理し、防

災のコンサルタントとして客先の

ニーズに応えております。

私共の仕事は専門的知識が必要

です。消防法に精通し、設備を充

分理解していなければなりません。

毎年八月下旬消防設備士の国家試

験が実施され、それも電気、水、

ガス等分野の違いにより七部門に

分かれています。例年二ヶ月以前

から社内では先輩が講師になり自主

講習会を実施しています。社員は

ほとんどが二十才代ですが、毎年

大勢受験し合格すれば大きな自信

となっており、会社としても消防

設備士の合格者を優先的にメーカ

ー研修会等に派遣しております。

今まで国家検定と言う非関税障

壁により外国製品が稀であったこ

の業界にも、自由化により規格の

違った新しい製品が入って来よう

としております。より早く新しい

知識・技術を修得し客先により良

いサービスを提供出来る様、若い

活力を生かし全社員今後一層頑張

って行くつもりです。



☆今月のふとこ ード所有者

20代60%・30代50%・40代52%・

50代37%・60才以上33%使用は30

代がトップ。

☆今月の財閥 全国の子供たちの

貯金保有額は1兆7862億円と

推定。

☆今月の車社会 免許人口506

06685人、自動車保有量46

417048台。(S59年12月末)



和室……10室有り
シングルコース
¥ 4,400

夕食、朝食ご用意出来
ます。
無料屋内駐車場20台分
有り。

日親連 ホテル あさひ

〒910 福井市大手2丁目14-13
☎(0776)22-1716(代)
☎(0776)23-7947